

<スクールアルバム>

★讃美でスタート



リトリート【中高H】

★K先生のメッセージ

★宿泊ならではの夜の花火大会



特別プログラム
デンマーク体操にチャレンジ



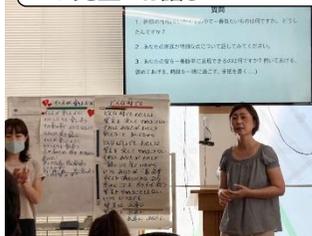
★S先生のお話し

リトリート【小学部】

★楽しいレクタイム

★水鉄砲でビューン!

小学部で夏祭り



全校生徒で夕涼み会・浴衣や甚平似合ってる～

Oくんの出店
いらっしや～い

◆番外編◆夏休み有志の活動
横浜文学散歩 上郷町内会夏祭りの設営



お願い・ご報告

- 10月前半のスケジュールをご確認ください。
 - ・ 3日(月)～ 6日(木) 3限授業 昼食無し(12時30分下校)
 - ・ 7日(金) 授業終了 前期終業式・暗唱聖句大会(3限) 午後:コンサート(昼食あり)
14時30分 ダイヤモンドチャペル下校・解散
 - ・ 8日(土)～11日(火) 秋休み
 - ・ 12日(水) 後期始業式(1限) 2限～ 通常授業・昼食開始
- 夏休み中のスクーリング(高3)のためにお祈りくださりありがとうございました。また、本郷台キリスト教会のヒーローキャンプ(小学生)、ユースキャンプ(中高生)の参加、ご協力に感謝します。
- 6月下旬より登校していた、KSさん(小3)、Aさん(小1)は、9月より正式に入学となりました。よろしくお願いいたします

今月のみことば(暗唱聖句)

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。」ヨハネ14:6

“I am the way, and the truth, and the life.” John 14:6

英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

祈禱課題

1. 夏休み後のスクール生活が感染からも暑さからも守られ、学習習慣が整えられますように。
2. スクール関係者のすべてのご家庭に恵みが溢れますように。
3. スタッフが聖霊の助けをいただき、愛と喜びをもって指導できますように。
4. 高3生、HOPE生の次の進路が主にあって導かれますように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 9月号

2022.Sep. 1

VOI.183

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「互いに愛し合う」

小学部担任 荒木かおり

夏休みが明けました。お子さんたちはご家庭でどのように休暇を過ごされたでしょうか？いつもよりも長い時間お子さんたちと過ごす中で、お子さんの様子や言葉遣いなど、変化に気づかれることがあったでしょうか。夏休みを控えた7月、スクールではリトリートと2回のフェスティバル、そして小学1・2年クラス夏祭り、夕涼み会などの行事が行われ、それぞれの行事を経て生徒たちの成長や変化を見させられていました。

今回のリトリートは、小学部はスクールで行いました。神さまの愛を知り、その愛を受けて生きるわたしたちが、今度は周りの人たちとどのように愛し合うことができるのか、愛を分け与えるには、どうしたらよいのかということ、活動を交えて学びました。また、中高HOPE生は2年ぶりに宿泊を伴うプログラムで、本郷台キリスト教会で行いました。父なる神さまの愛について学ぶ時間、そして、教師と一対一でゆっくりと話し、祈る時間を持ちました。聖書の価値観から自分のアイデンティティーに触れ、父なる神さまとの関係を見直すきっかけを与えられました。自分がこの世に存在する目的・使命があること、また、わたしを救うために十字架で死んでくださった救い主の愛と命が一人ひとりに与えられていることを知った生徒たちは、これまでの古い生き方を捨て、新しい生き方へと挑戦する心が与えられました。この日を境にして、それぞれのクラスの雰囲気や関係性がどんどん変えられていきました。これまで、反発し合う態度や言葉遣いだった生徒たちが、自分と違う個性のクラスメートを受け入れ、寛容さを身につけて接することができるようになりました。リトリートを通して、互いに愛し合うこと、ゆるし合うことを実践するようになり、クラスの中でも、授業中のやり取りの中でも、生徒たちの言葉遣いや態度に大きな変化をもたらしていました。

その後、2回のフェスティバルに奉仕者として参加し、今度は地域の方々に向けて神さまの愛を実践する機会が与えられました。このフェスティバルも約2年ぶりに行われましたので、多くの生徒たちにとっては初めての行事でした。それぞれに与えられたブースでの役割を誠実に果たし、暑い中とてもよくがんばっていました。ここでも、来てくださる地域のお子さんたちに愛をもって接する姿が見られました。

夏休み前最後のイベントとして、1・2年生クラスの夏祭りと夕涼み会がありました。1年生の〇くんは、お母さんと一緒に作ったキーホルダーなどを手作りガチャポンに入れて、お店を開き、大好評でした。他の1・2年生たちも、手作りのかきごおりや綿あめ、ゲーム機を売るお店と、輪投げと魚つりのゲームコーナーを用意して、お兄さんお姉さん、先生方や保護者の方たちをお招きして夏祭りを開きました。友達と力を合わせてお祭りを成功させようと励む姿がとても素敵でした。その午後には、実行委員会による夕涼み会も行われ、全校での讃美の時やヨーヨーすくいを楽しみました。暑さの中でも、少しの工夫で涼をとり、楽しみながら夏を味わう夕涼みを体験し、夏休み中も、少し工夫して夏休みにしかできない時間を楽しみ、普段は会えない親戚や家族との時間を居心地の良いものにしていけるよう、一人ひとりの言葉や態度に神さまの愛を実践する夏にしていこうとの励ましもありました。

7月のリトリートから始まり、大きな変化を経験して、この夏、ご家庭でのお子さんたちの様子はいかがだったでしょうか。スクールに戻ってくる中で、もう一度自分たちが経験したことを思い出しながら、9月も神さまの愛を実践する歩みとなりますように。

「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。」ヨハネの福音書 15章 12節

9月のカレンダー

日	月	火	水
4日	5日 緊急連絡訓練	6日	7日 合同礼拝（1限）
11日	12日	13日	14日 学部別礼拝（1限）
← 前期期末テスト週間（中高等部） →			
18日	19日 敬老の日	20日	21日 合同礼拝（1限）
25日	26日	27日	28日 合同礼拝（1限）
A 先生誕生日	← 4限授業（昼食あり）下校13時50分 →		

- ・ 1日（木）から授業・昼食が始まります。1限はHR、2限～4限は通常授業です。昼食・清掃・帰りの会を行い、13時40分下校となります。2日（金）から、通常授業です。
- ・ 5日（月）、地震・火災などの非常事態において、スクールスタッフが保護者と連絡を取る経路（電話・メール等）を一斉確認する、緊急連絡訓練を行います。保護者の皆さまには、ご協力をお願いします。詳細につきましては、後日、お知らせいたします。
- ・ 12日（月）～16日（金）は、前期期末テスト週間（中高等部）です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・ 17日（土）14時～18時、本郷台駅前「ウクライナともだちフェスティバル」を行います。ウクライナからの避難民を地域の方々と共に支援するための企画です。スクール中高HOPE生もボランティアとして参加する予定です。詳細は後日お知らせします。また、家族や友達を誘って参加してください。
- ・ 15日（木）15時～17時、保護者・スタッフ向けに、特別支援研修会を行います。「五感とあそび心の造形表現を通じた遊び」と題して講演をしていただき、その後、質疑応答の時間をとります。講師は、“アトリエ太陽の子”（子どもの造形教室）講師のMM氏です。Zoomで参加することもできます。ぜひ期待してご参加ください。
- ・ 26日（月）～29日（木）は、前期終業に向けて午前（4限）授業となり、下校は13時50分となります。
- ・ 30日（金）は、3限授業で昼食ありです。12時50分下校です。
- ・ 保護者、スタッフ向けバイブルタイムは、8（木）、15（木）、29（木）の3回です。13時15分からエスペランサの小屋にて行います。1（木）、22（木）はお休みします。

木	金	土
1日 授業・昼食開始（1限 HR、2～4限 通常授業 13時40分下校）	2日 通常授業開始 委員会活動（6限）	3日 N先生誕生日
8日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	9日 クラブ活動（6限） J先生誕生日	10日
15日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム 特別支援研修会（保護者・スタッフ向け）	16日 クラブ活動（6限）	17日 ウクライナともだちフェスティバル （本郷台駅前） E先生誕生日
22日	23日 秋分の日	24日 S先生誕生日
29日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	30日 3限授業・昼食終了	



子育てnote

どのようにしたら、私たちの家族の中に良い空気が流れるようになるのでしょうか。今日はその秘訣を、お教えします。

良い空気とは、そこに平安な気持ち、安心感が流れていることです。そのためには、まず、私たちの心の内側に平安が与えられている必要があります。争いや確執のある家の雰囲気は、子供たちの心の成長に良い影響を与えません。どのようにしたら、私たちの心に、平安が与えられるのでしょうか。まず、なぜ、私たちの心には、争いや不安や確執があるのかを考えてみましょう。それは私たち一人ひとりの心に自我があって、その自我が他者の自我とぶつかったり、対立したり、思いがすれ違ってしまったりしているからです。つまり、私たちは、お互いの間で、壁を築いてしまい易いのです。時には、その壁を強固に築きすぎて、孤独になってしまう人もいます。十字架は、それら、さまざまな隔ての壁を打ち砕くために、神が用意してくださったものです。聖書は、神が、ご自身にとって一番大切な存在である方、御子イエスをこの世界に送ってくださって、私たちのさまざまな問題の根である自我を、御子と共に十字架につけてくださったというのです。私たちには、どうにもコントロールしようのない自我ですが、神が、御子と共に、十字架につけて、既に死なせてくださったというのです。この事実を受け入れて、自分は、もはや自我のために生きる必要がない、と知るとき、私たちの心から、壁が取り除かれます。しかし、十字架というのは同時に、死と命が共存するところでもあります。私たちの自我は、なかなか死なないので。私たちが、「自我の死」を自分のものとするためには、私たちの自我が、そこで死んだ、とみなす必要があります。でも、そのようにみなす時、私たちに新たな、別の力が与えられます。それは「復活のいのち」とも呼ばれ、生きる上での「新しい生き方・視点」です。不思議に、神様が共にいて助けてくださるようになるのです。まだ体験したことのない方は、ぜひ体験してみてください。日々に、十字架を見上げ、そこで毎日に、自分の自我は死んだ、とみなしてください。またそのことを感謝しましょう。そこから、平安が流れてきます。そのようにして、家庭の中に平安を流していきませんか。

校長 月井博

